

はるかな尾瀬

目次

- 02 『山魅』檜枝岐、受け継がれた魅力を伝える ～星秀和さんを訪ねて～
- 04 特集 尾瀬のミニ観察・総集編①
- 05 ビジターセンターへ、ようこそ！
 - ①尾瀬山の鼻ビジターセンター
 - ②尾瀬沼ビジターセンター
- 06 現地情報
 - ①原をわたる風だより
 - ②おこじょだより
- 08 尾瀬認定ガイドがススめる とっておきの尾瀬
身近な自然に心を向けるきっかけづくりに
- 09 尾瀬ボランティア情報
- 10 尾瀬保護財団からのお知らせ



2018.8 vol.37
(公財) 尾瀬保護財団



ひょっこり姿を見せた尾瀬の人気者「ヤマネ」

1

はるかな尾瀬 2018.8

特集

『山魅』

檜枝岐、受け継がれた魅力を伝える
（星秀和さんを訪ねて）

軽トラックの荷台にたくさんの椎茸。暑さの続く7月の檜枝岐村で星秀和さんにはったり再会した。秀和さんとの出会いはまだ寒さの残る3月上旬。東京での呉服の営業マンを辞めて村にUターンし、村の魅力発信に燃えている人がいると聞いて、取材に伺った。

『山魅』の立ち上げ

（お母さんの秘伝のレシピ）

秀和さんは檜枝岐村ならではのお土産を作ろうと2013年に『山魅』を立ち上げ、山人（やもうち）漬げや山人焼肉だれを中心に、日々檜枝岐村の魅力発信に奔走している。以前は、尾瀬土産として檜枝岐村のお土産を買おうと思っても、南会津や会津若松のお土産ばかりだった、と秀和さん。会社の名前『山魅』の由来は『山の魅力』。自分たちが普段から食べているものに魅力があると感じ、お母さんの秘伝レシピを元に、商品を開発した。檜枝岐



乾燥しいたけ



山魅で取り扱う商品

村は裁ちそばが有名だが、山人漬げとは、そばの薬味の“あれ”のこと。ご飯や冷奴の上にかけてたり、お茶漬げや卵焼きにしてもおいしいが、山魅で扱い始めるまでは村の飲食店や民宿でしか食べられなかった。「母親の作ったのが美味いから、絶対売れると思った」とのこと。病氣療養中のお母さんをまた元気にしたいという思いもあり始めた山魅だが、お母さんは山魅立ち上げの翌年に亡くなった。

親戚を繋ぐ『山魅』の寒ざらし大根

「山魅は親戚でもっている」と秀和さんは話し始める。

サラリーマンを辞めて、山魅を立ち上げて、母親が亡くなって、やっていく意味がないと思った。南会津の会社から声も掛けてもらっていた。母親と一緒にやらなきゃ教えても貰えない。そんな時、おばさん達二人が「畑のあれが出てるぞ。これだぞ、これだぞ。」と秀和さんを訪ねてきて、こんなおばあさんがいるならやらなきゃいけない。と思ったそう。

冬場に仕込む寒ざらし大根。その作り方は想像以上に手間がかかっている。

- ◇10月雪が降る前に穴を掘って、大根を土の中に埋めておく。2017年の仕込みは400本！
- ◇土から掘り出し、洗い、切って、煮る。煮具合も昔からのベテランじゃないとできない。何回教えてもらっても難しい。
- ◇水で晒して熱を取る。
- ◇真ん中に糸を通し、束ねて清水が流れる池に晒して4日間糖分を抜く。
- ◇干す。乾ききるまで1か月半〜2か月。昼間暖かいところに晒し、夜は凍

凍ってを繰り返す、最後は薪ストーブで乾かす。

寒ざらしをやるとなると年間行事みたいになって、10人位親戚が集まって、一気にやる。その後は宴会（笑）、と秀和さん。「納品先で、機械でやってるからこんな白くなるんですよ？と言われて、すべて手作業でやってやると思った。意地になってる。」と話してくれた。大根一本で一製品位の量とこのことで、これだけ手間をかけて400円で販売しているのだから頭が上らない。商品は檜枝岐村内や周辺の道の駅をはじめ、東京の日本橋ふくしま館MIDETTEでも取り扱って



寒ざらし大根



星秀和さん

おり、イベント出店時には料理の仕方
も教えてくれるそう。色が白くて綺麗
だから買うという人が多いそうだ。

恥ずかし料理

俺たちが好きなやつは

お客さんには食わしてない

秀和さんに話を伺ううちに、もしか
して、観光客は食べられない村料理が
あるのでは？と思って聞いてみた。「本
当に食ってもらいたいやつって、お客
さんには食わしてない。なんでもない
料理。恥ずかし料理って言う。村の飲
食店で扱うといいんだけど、手間がか
かるものも多くてね。民宿の常連客と
か、連泊なら出してもらえるかも。そ

ばつきり。最高にうまい!! ホシバと丸
そばの鯨のぶっかけ汁。宴会メニュー
だね。」と盛り上がる秀和さんと取材
に同行してくれた村の知り合い。ホシ
バ? ? 干し葉と書くのだろうか? ? うー
ん、食べてみたい。お願いしてあげよ
うか? ? という甘い言葉を期待して、今
日民宿泊まりなんだけど、と呟いてみ
る。なんとラッキーなことに、宿泊予
定の民宿が秀和さんのお母さんの実家
とのこと。夕食が楽しみだ。

最後に写真を撮らせてもらっても
いいですか? ? と伺ったところ、「だめ
だあ、意識して。だはははははは。」
と豪快な笑い。笑顔も声もキラキラ輝
いていて、会ってまだ1時間ほどなの
に、完全に秀和さんに引き込まれてし
まった。

村料理『そばつきり』 ホシバと丸そばの

鯨のぶっかけ汁

夕食時、お待ちかねの『そばつきり』
をいただく。

汁は醤油ベースの優しい味で、ホシ
バや寒ざらし大根、丸そばの味をしっ
かり感じながらも、檜枝岐と同じよう
に山間地域にある父親の実家で昔食べ
たような素朴な味。本当においしかっ
た。また食べたいな〜と思いつなが

も、そうそうお目にはかかれぬだる
うなとしみじみいただいた。



そばつきり

最後に

今まで檜枝岐を訪れると、裁ちそば
とはつとうを食べ、温泉に浸かり檜枝
岐を満喫した。つもりになつていた
私。今回の取材で、檜枝岐で心の底か
ら楽しそうに生きている秀和さんに出
会い、新しい村の魅力を発見すること
ができた。檜枝岐の魅力は無限大。是
非皆さんにも檜枝岐を感じ、尾瀬旅行
をさらに印象深いものにしてもらいた
いと思う。

(佐々木 彩乃)



きくらげ栽培



しいたけ栽培



前号 (vol.36) で惜しまれつつも最終回を迎えたフラワーエコロジストの田中肇さんによる人気コラム「尾瀬のミニ観察」。「もう一度読みたい」という皆様の声にお応えして、今回から総集編をお送りします。

* サワギキョウ

紫色が美しいサワギキョウの花に触れてみよう。

花びらは手の指のように5つに裂けて、マルハナバチが来るのを待っている。花びらの上に弓のように伸びているのが、雄しべだ。穂の上の方に咲いている花の、雄しべの先を指で3秒ほどそっと触れていると、白い花粉がもこもこ湧き出てくる。虫メガネだとよく見える。こうやって、ハチが来たときに花粉を渡すのだ。

第1回 vol.5 (2008.6) 掲載



* キンコウカ (花期：7月上旬～8月上旬)

昆虫をちょっとだます花だ。

この花には蜜がなく、花粉を運ぶマルハナバチやハナアブへの報酬は花粉だけ。花粉は昆虫にとって蛋白質に富んだ貴重な食品だが、蜜とは違ってその再生産はできない。花は花粉がなくなっても昆虫には来てもらいたいので、雄しべに花粉のような肌触りの、金色の細かい毛を沢山生やして「花粉がまだあるよ」と昆虫をだます。この花に出会ったら虫メガネで、昆虫を誘う花の工夫を、是非見てください。

第2回 vol.6 (2008.9) 掲載



* エゾリンドウ (花期：9月中旬～10月上旬)

花は閉じていることが多く、昆虫が来るのか心配になるが、それには理由がある。

山の天候は変わりやすく、うっかり咲いていると、にわか雨が花に入り、花粉を水浸しにして生殖能力を奪われてしまう。花はそれを防ぐためちょっと曇ると閉じるが、頭のいいマルハナバチに受粉を任せているので安心だ。マルハナバチは花びらをこじ開けて入り、蜜を吸う。そして「こんにちは」と出てきたときパチリ。チャンスを狙おう!!

第3回 vol.7 (2008.11) 掲載



* リュウキンカ (花期：5月中旬～7月上旬)

この花には人間には見えない模様がある。花は直径3cm前後。花びらは、私たちには金一色に輝いて見える。しかし、紫外線だけを通すフィルターをかけて撮影すると、写真のように花の中心部は紫外線を反射せず黒く写る。紫外線を色として識別できる昆虫は、この模様で餌のある花の中心部を知り、効率よく餌が食べられるのだ。尾瀬で実物とこの写真とを比べて見よう。花は人間のためでなく昆虫のために咲いているのだ、と実感できるはずだ。

第4回 vol.8 (2009.3) 掲載



(フラワーエコロジスト 田中肇)

尾瀬山の鼻ビジターセンター

鳩待峠から尾瀬ヶ原へ向かう皆様にとっては、もうお馴染みではないでしょうか？三角屋根が目印の「尾瀬山の鼻ビジターセンター」です。私たちのビジターセンターでは職員のアイディアをもとに手作りの展示で皆様に尾瀬ヶ原や至仏山の情報提供を行っております。職員の想像力を働かせて、「窓口で聞かれること」や「今、尾瀬ヶ原でお花を咲かせている植物、動物のこと」や「今、尾瀬ヶ原



情報更新しています。尾瀬ヶ原に行く前の事前学習、そして帰る前の復習として、ぜひお立ち寄りください。山の鼻ビジターセンターの人気者、ツキノワグマの「くまぞう」と写真を撮りやすいようにくまぞうの向きを変えてみました。(写真①)お越しの際は、ぜひ写真を撮ってあげてください！また、ビジターセンターでは、動物のほく製に触ってもらうことができます！普段はなかなか触ることのない動物たちを優しく触ってみてください。



今年から新しく加わった展示「尾瀬で見る夜空」。尾瀬で星を見る、特別な夜を過ごしてみませんか？(写真②)そしてもう一つ！今年7月の1ヶ月間、尾瀬沼ビジターセンターの職員と山の鼻ビジターセンターの職員が相互人事交流を行ったため、尾瀬沼の職員が山の鼻ビジターセンターの展示室に尾瀬沼の詳しい情報を展示してくれました。(写真③)これを機に、尾瀬ヶ原にいらっしやっただ方が尾瀬沼の情報を得て、「尾瀬沼にも行ってみよう！」

と思っただけだと嬉しいですね。尾瀬の自然と触れ合う「ミニガイドツアー」や尾瀬の環境への取組等紹介する「スライドショー」を、土日祝日の前夜に宿泊者を対象にレクチャールームで実施しております。皆様のお越しをお待ちしております。



ビジターセンターへ、ようこそ！

尾瀬沼ビジターセンター

尾瀬沼ビジターセンターは、昭和39年に環境省によって、尾瀬沼東岸の会津沼田街道沿いに設置されました。この東岸からは、東北以北最高峰である燧ヶ岳(日本百名山)を間近に望むことができます。



尾瀬沼ビジターセンターでは、訪れた皆様に尾瀬をより深く理解していただくための企画展示「檜枝岐村の歴史・文化」をはじめ、尾瀬の動植物の展示などを行っています。また、シーズンを通して毎朝のミニツアー、毎週末夜のスライドショー(写真④)なども実施しています。



その他、今年度も尾瀬に関係している方を講師に呼んで「あの人に学ぶ尾瀬」という特別イベントをシーズン中に2〜3回実施します。第1回は7月に「歩荷さんを知っていますか」を実施しました。(写真⑤)第2回は8月に群馬県立自然史博物館職員を招いて「総合学術調査で明らかになる尾瀬の植物最新情報」を実施しました。第3回は、昭和30年代に、尾瀬の馬方をされていた方をおまねきして「尾瀬の今昔話」を、9月23日(日)に実施予定です。

また、尾瀬沼地区で毎週末行っている夜のスライドショーと朝イチ観察会を、見晴地区に出向いて実施しています。これはシーズン中に6回程度実施予定です。7月には「尾瀬と木道」「尾瀬のチヨウとトンボ」をテーマにしたスライドショーを行いました。また、朝イチ観察会では、スライドショーで知ったハッチョウトンボを実際に観察することができて、参加した皆さんは大変満足していたようでした。(写真⑥)尾瀬の魅力をいろいろな視点から紹介することによって、より深く尾瀬を理解していただくことが狙いです。

さらに、尾瀬保護財団HPや尾瀬沼ビジターセンターFacebookで現地の最新情報を発信しています。ぜひご覧いただき、尾瀬への訪問をご検討ください。皆様にお目にかかることを楽しみにお待ちしております。



原をわたる風だより

山の鼻ビジターセンターより



厳冬の冬から猛暑の夏へ

本年2月より尾瀬保護財団に勤務している小川です。

3月の冬季調査では厳冬の尾瀬ヶ原を初めてみる事ができました。本当に神々しい景観であり、感動いたしました。5月には無事にビジターセンターも開所し、お客様を迎えることができました。



梅雨明けと同時に猛暑の夏を迎えておりますが、訪れる方々には尾瀬の自然を楽しんでいただきたいと思います。ビジターセンターでお待ちしております。

(小川 浩司)

幻想的な一瞬のお勧め

今シーズン4年ぶりに山の鼻ビジターセンターに勤務することになりました。以前とは立場は違いますが、前の経験を活かし、少しでもビジターセンター運営に役立てられたいと思っています。

私は尾瀬で長年仕事・生活してきましたことから、尾瀬に来られる方には是非お勧めしたいのが、まず小屋に宿泊し夜の星空

(周囲が暗いので多く見える)を楽しむ、そして翌朝は4時過ぎには尾瀬ヶ原にでかける(カッコウを

はじめ鳥の合唱・植物などが朝露で生き生き・朝霧の動き・燧ヶ岳方向から日の出となり、至仏山から徐々に尾瀬ヶ原に陽光が差し込む)。まさに幻想的な一瞬一瞬が体感できます。(注意：季節(6月〜9月頃の晴れた日))。



今年度は山V.Cと沼V.Cの業務を経験しています。とっても素敵な場所だと改めて気がきました。シヨウジョウバカマが幽玄と花を咲かせ、モウセンゴケの花が凛とした姿を見せてくれました。堪能するには半年は、すごく短く感じます。のんびりしているところとあっという間に過ぎてシーズンが終わってしまうので、日々の尾瀬をいつまでも忘れないように過ごしています。尾瀬の素晴らしい自然を満喫しにぜひおこしくください。

(笹原 宗利)

日々の尾瀬を忘れないように

今年で3回目の勤務となり、私の名前を見て「あっ!」と思われた方もいらっしゃるのではないのでしょうか。またここ、山ノ鼻に戻ってまいりました。何度来ても飽きる事のない景色、空気感、星空。私が感じたようにみなさんにも感じていただきたい!と今年には山の鼻ビジターセンターでもイベントを企画中です。尾

忘れられない尾瀬

今年で3回目の勤務となり、私の名前を見て「あっ!」と思われた方もいらっしゃるのではないのでしょうか。またここ、山ノ鼻に戻ってまいりました。何度来ても飽きる事のない景色、空気感、星空。私が感じたようにみなさんにも感じていただきたい!と今年には山の鼻ビジターセンターでもイベントを企画中です。尾

(森山 暢希)

数年尾瀬を見て

今年で4年目になり、このような文章を書くにあたり振り返ってみると、何の気なしに始めたこの仕事も思えば随分続いているな、と感じます。

毎年山の鼻ビジターセンターに勤務し、その年々の風景を見ていますが、その年々の特徴があつて結構面白いです。例えば去年の6月17日の山ノ鼻からみた至仏山の写真(右)では、まだまだ雪が残っています。ですが今年の6月17日の写真(左)ではほとんど雪がありません。

他にも花の咲く時期や池塘の移り変わりなど、去年や一昨年との違いを探すと色々見つかります。このような差異を楽しみつつ今年のシーズンも尾瀬を見ていきたいと思えます。

他にも花の咲く時期や池塘の移り変わりなど、去年や一昨年との違いを探すと色々見つかります。このような差異を楽しみつつ今年のシーズンも尾瀬を見ていきたいと思えます。



(菅原 與晴)

美しく儂い花のリレー

1年目の横井です。山の鼻ビジターセンターと尾瀬沿ビジターセンターの両方で勤務させていただき、尾瀬にハイキングに来ていた時は、花が咲く湿原の景色が思い出さずと切り取られてずっとその花が咲いているかのように思い浮かびますが、尾瀬の中で生活していると一つの花が咲いている期間がとても短いことに驚かされません。雪解けからアツという間に過ぎて行く、美しく儂い花のリレー。秋の草紅葉も楽しみです。ビジターセンターで皆様をお待ちしています。

(横井 信彦)

感動と勉強の日々

私は今年が初めてのビジターセンター勤務です。尾瀬で迎える春も夏も季節ごとに見られる花とも初めての出会いです。目に映るもの全てが新鮮で感動と勉強の毎日を送っています。尾瀬に来て良かった、と心から思う日々。お客様にも同じ感動を味わっていただけるように努力していきたいです。

尾瀬に関わる方々やお客様との出会いに感謝しながら、また新しい季節を迎える尾瀬を楽しみたいと思います。(柴崎 恵)



おじじよだより



尾瀬沼ビジターセンターより

《それぞれの思い》

今年の尾瀬はどうしてしまっただのかと思うほど、晴天が続いています。雪解けが早く、空梅雨で、さらに夏も晴天続き。こんなに降水量の少ない尾瀬は、初めてです。この天候のためかニッコウキスゲも、他多くの花たちもどこか元気がないように見えています。

ビジターセンターでは、昨年に引き続き職員が考えたオリジナルのテーマでのスライドショーを行ったり、星空観察会を開いたりといろいろなイベントも行っていきます。

尾瀬のシーズンもあとわずか、この素晴らしい尾瀬の景色を目に焼き付けながら、残りの日数を過ごしたいと思います。

そして来年、再びニッコウキスゲの群落が見られることを期待しています。

(阪路 善彦)

昨シーズンは女子力の高さが際立っていた尾瀬沼ビジターセンターでしたが、今年は経験豊富なおじちゃん…もとい、お兄様方に囲まれ、愉快な日々を送っております。優しい口調で小学生の自由研究をお手伝いする姿は、聞いている私も優しい気持ちになります。尾瀬が大好きなメンバー9人が集まって、尾瀬を訪れる方にもっと尾瀬を好きになってもらえるように、日々会話を大切にしています。素敵なおじ様揃いの「おじ」沼ビジターセンターに是非お越し

ください。

(佐々木 彩乃)

ここ数年、尾瀬ヶ原・尾瀬沼とその周辺でいろいろな仕事をしてきました。しかし尾瀬の中に泊まるのは連続で2、3泊くらいと短いものでした。今回ビジターセンターに初めて勤務し半年間尾瀬沼に滞在し、季節を通し花の移り変わりや朝夕の景色をじっくり肌で感じ、尾瀬情報やブログで発信していきたいと思っています。先日田代山を巡回した際、すれ違った登山者の方に「ブログ毎日見ているよ」と声をかけられたのが、非常にうれしかったです。これからもよろしくお願いいたします。

(中馬 慎二)

今年は尾瀬沼ビジターセンターでの勤務のほか、5年前に勤務していたこともある山の鼻ビジターセンターにも、1ヶ月の出張勤務をしました。尾瀬で働ける喜びと懐かしい思いに浸りながら、日々尾瀬が見せる様々な表情やその中を生きる生き物たちの躍動を見るたび、感動で胸がいっぱいになります。尾瀬沼と尾瀬ヶ原を行き来しながら、尾瀬の魅力やその自然の豊かさや重宝性を伝え、尾瀬をいつまでも美しく次世代の子供たちに受け継いでいけるように貢献していきたいと思っています。

(川上 藍)

2年目の西川です。また新たな気持ちで尾瀬にやってきました。尾瀬はたくさんの方の努力で自然が守られてきました。便利で合理的で速さを追いかけることがすべて良いとされた時代が長く続いてきました。

でも、尾瀬にやってくるには必ず峠の山道を汗して上がってこなければなりません。不便でも、本当の幸せ、豊かさとは何かというのを教えてくれているのが尾瀬だと思っています。今年もたくさんのお会いを楽しみに頑張ります。よろしくお願いします。

(西川 眞治)

初めて尾瀬沼ビジターセンターで勤務することになりました加藤です。5月の連休、雪の尾瀬ヶ原を歩いたことも、10月下旬に霜の降りた木道で滑ったこともあり、痛い思いもしましたが、尾瀬はいつも美しい思い出を残してくれました。

今回は立場を変えて新鮮な気持ちで尾瀬にやってきました。可憐な花、朝霧や夕焼けの景色、青空に流れる雲。たくさんの方の尾瀬の魅力で多くの人に笑顔をお届けしたいと思っています。せっかく峠道を汗をかきながら尾瀬を訪れた方々に、その時々美しい出会いが心を豊かにできるように頑張っています。そのお手伝いのために頑張っていきたいと思っています。よろしくお願ひします。

(加藤 樹)

尾瀬沼ビジターセンター1年生、新潟県から来ました渡邊寿敏です。山が好きで若い頃富山県立自然の家で小中学生と一緒に活動しました。自然の中にいると、いかに人間が小さくて弱い生き物であるかを実感しました。その実感こそ、自然に対する謙虚な気持ちになるスタートラインなのではないかと思っています。還暦を過ぎて記憶力が衰え、植物の名前がなかなか覚えられない

のですが、尾瀬においでになる皆様とともに、尾瀬の魅力をたくさん発見したいと思います。通称「なべさん」気軽に声がけください。

(渡邊 寿敏)

今年初めて尾瀬で働かせていただきました。群馬県出身の大澤未奈です。山が好きで以前は長野の山の中で働いていたこともありますが、ビジターセンターで働くことは新しいことの連続、刺激的な毎日で、たくさんの方の先輩方から勉強させていただきました。大変ありがたく思っています。四季を通して尾瀬と寄り添うことで気づくことを、いらっしやる方々に発信できるように頑張ります。尾瀬にいらっしやる際は、是非尾瀬保護財団のブログもご覧ください。管理員一同で頑張っています！

(大澤 未奈)

管理員一年目の矢巻です。普段は尾瀬沼ビジターセンター勤務ですが、7月中は山の鼻でお世話になりました。

前職では檜枝岐の公共施設に勤めていた

関係で冬の尾瀬に入山するなど貴重な体験をさせていただけました。

尾瀬は気張らずに歩ける身近な自然にも関わらず、手つかずの大自然が残された希少性の高い場所でもあります。春夏秋冬、私が見てきた尾瀬を皆様にお伝えできればと思っております。尾瀬沼・山の鼻両ビジターセンターへ是非お越しください。



(矢巻 将兵)

尾瀬認定ガイドがススめる **とっておきの尾瀬**

身近な自然に心を向けるきっかけづくりに 〈伊澤菜美子(尾瀬自然ガイド)〉

NPO法人片品・山と森の学校 Tel 080-5175-4673 URL <http://katashina.info/>



Q 尾瀬歩きが何倍も楽しくなるような尾瀬の楽しみ方を教えて下さい。

A 木道を歩く足とおしゃべりをとめて、目をつぶってみてください。

人は五感の8割を視覚に頼っていると言われます。視覚を閉ざし、他の感覚を研ぎ澄ます準備をします。



「聴こえる音、風の向き、足裏の感触、日差しの暖かさは……」

感じる力を高めると、素通りしていたかもしれないことに足を止められるようになります。美しい風景を見て歩くのは尾瀬の醍醐味ですが、色々な事象に目を見る感性を養つと、尾瀬での歩みがさらに楽しくなりますよ。

Q オススメする尾瀬スポットを教えてください。

A 落葉樹の葉が息を吹き返したかの樹々の変化です。足元の湿原に先立ち、様々な緑色が増え、日毎に色濃くなっていく森の様子を尾瀬ヶ原から眺めるのがおすすめです。「山笑つ」と春の季語にあるように、

尾瀬が笑っているようだなあ！と思ひ、私も頬がゆるんでしまいます。

その後、少し遅れて葉が開く、常緑針葉樹のコメツガやオオシラビソの芽吹きの様子もおもしろいですよ。



▲オオシラビソ芽吹き



▲コメツガ芽吹き

Q 尾瀬に持っていくと便利な道具はありますか？

A 日焼け対策グッズです。山地は平地よりも紫外線の量が多く、水芭蕉の見頃ははじまる5月下旬もすでに日差しが強いです。夏だけでなく春も日焼け対策が必要であるのと、尾瀬ヶ原には木陰がないので、長時間、太陽の日差しにさらされることとなります。日焼け止めクリーム、ツバつきの帽子、アームカバーの他にも、唇がカサカサになることがあるのでUVカット効果のあるリップクリーム、残雪期は雪目になるのを防ぐためにサングラスもあると良いです。

Q 尾瀬をガイドしていて、印象に残る思い出のエピソードを聞かせて下さい。

さい？

A 「ああ〜楽しいなあ」
尾瀬学校で、私の後ろを歩いていた児童のつぶやき。

「ここに連れて良かった」
旅行会社のガイドで、私の後ろを歩いていた方のつぶやき。
尾瀬をご案内後、鳩待峠で私に向かって発せられる言葉よりも、ふいに、その人の心から漏れ出す声は、装飾のない素直な気持ちなのだと思ひます。

盗み聞きしているみたいですが、そのような声を耳にしたとき、共に尾瀬での時間を共有できたことを嬉しく感じます。

Q 今後の抱負・目標・意気込みを聞かせて下さい。

A 尾瀬で興味をもったこと、感動した気持ちや普段に持ち帰って頂けたら、と思っています。例えば「通勤路の街路樹の木陰が気持ち良いな、尾瀬を歩いたときもそうだった」「尾瀬で聴いた鳥の鳴き声と似ているな」「綺麗な夕焼けだな、尾瀬の空も焼けているのかな」そんな風に身近な自然に心を向けるきっかけをつくれるガイドをしていきたいです。そうして日々生まれる「！」「や」「？」がまた尾瀬や各地の自然に足を向かせる動機づけになれば嬉しいです。

尾瀬ボランティア情報

このコーナーでは尾瀬ボランティアの活動の様子を紹介します。

「外来植物の駆除作業」を行いました

当財団では、関係機関等の協力のもと、近年登山口周辺での生育が懸念されている「ハルザキヤマガラシ」、環境省で指定されている特定外来生物の「オオハンゴンソウ」を対象種とし、水際の侵入予防対策の一つとして駆除を実施しております。

ハルザキヤマガラシは、尾瀬に至る車道沿いで生育が確認されており、昨年度に引き続き、群馬県側の入山口である鳩待峠から津奈木の間において、6月8日(金)と24日(日)の両日、計6名の尾瀬ボランティアの方々にご参加いただきました。

オオハンゴンソウの駆除は、6月16日(土)に群馬県側の片品村戸倉地区区内において、7月7日(土)に福島県側の檜枝岐村小沢平登山口周辺において、計2名の尾瀬ボランティアの方々にご参加いただきました。

なお、今年度から、尾瀬ボランティアの皆様のほか、企業ボランティアの皆様や、地元で自然保護活動に取り組まれている皆様のご協力も得ながら実施しました。どちらの植物も繁殖力の強い外来種ですので、駆



除にはまだまだ時間が掛かりそうです。来年度以降も皆様のご協力をいただきながら、駆除作業を続けていきたいと考えておりますので、よろしくお願いたします。

「大江湿原シカ柵設置作業」を行いました

ニホンジカの食害からニッコウキスゲ等の植生を保護するため、林野庁関東森林管理局が平成26年から実施してきた大江湿原でのシカ柵設置作業について、当財団では今年度から尾瀬ボランティアの活動メニューに新たに加えて協力しています。

今年度は、6月16日(土)に4名の尾瀬ボランティアの方々のほか、企業ボランティアの皆様のご協力も得ながら実施しました。

10月上旬に、今回設置した柵を倒す作業が予定されておりますので、皆様のご協力をお願いいたします。



「至仏山東面登山道柵立て」を行いました

6月17日(日)に、3名の尾瀬ボランティアの方々にご参加いただき、至仏山東面登山道の山ノ鼻登山口から高天ヶ原上部までの登山道に踏み込み防止柵の設置を行いました。

この作業は、登山者による登山道以外への踏み込みを防止することを目的とし、群馬県から当財団への委託事業として、毎年至仏山の山開き前に実施し

ております。

10月には、今回設置した柵を倒す作業を予定しておりますので、皆様のご協力をお願いいたします。

「尾瀬ボランティア講座」を開催しました

6月23日(土)～24日(日)に山ノ鼻地区において尾瀬ボランティア講座を開催し、新規登録予定の方5名のほか、昨年度に引き続き、群馬県が実施している「ぐんま環境学校(エコカレッジ)」から23名にもご参加いただきました。

当講座は、新たに尾瀬ボランティアへの登録を希望する方の研修と先輩ボランティアとの交流を目的としたもので、山ノ鼻地区と尾瀬沼地区を隔年で実施しています。



尾瀬ボランティアの活動内容の座学や、実際の清掃活動、入山口啓発活動について先輩ボランティアさんに指導していただき、尾瀬におけるボランティア活動の重要性について学んでいただきました。

今後、講座参加者の方には尾瀬ボランティアに新規登録していただきますので、新たな仲間が加わります。先輩ボランティアの皆様、どうぞよろしくお願いたします。

このように、尾瀬ボランティアの皆様のご協力の下、尾瀬の自然環境の保全に向けて様々な活動を行っています。興味を持たれましたら是非、当財団までご連絡ください！



寄付のお願い

尾瀬保護財団では広く寄付をお願いしております。

当財団は、尾瀬国立公園において、利用者に対し自然への理解を深めるための解説活動や、適正な利用に関する普及啓発を実施するとともに、各種の環境保全対策や施設の管理運営等を行い、尾瀬の優れた自然環境の保全に寄与する活動を続けております。

■ 税の優遇措置等について

尾瀬保護財団へ寄付をすると次のような税の優遇措置が受けられます。

控除対象	内容	必要書類
所得税、法人税	尾瀬保護財団は「公益財団法人(免税団体)」に認定されており、寄付金は税の優遇対象となります。	尾瀬保護財団発行の「寄付領収証」
個人県民税、個人市町村民税	尾瀬保護財団を対象団体として指定した都道府県または市町村にお住まいの個人の方については、県民税または市町村民税の控除対象となります。	尾瀬保護財団発行の「控除対象寄付金受領証明書」、「寄付金税額控除申告書」

※所得税、法人税の詳細については、最寄りの税務署、県民税市町村民税については、お住まいの都道府県、市町村にお問い合わせ下さい。

■ 特別協賛寄付・協賛寄付について

企業・団体の皆様とより良いパートナーシップを築けるよう、特別協賛寄付、協賛寄付の制度を設けています。詳細は財団事務局（☎ 027-220-4431）にお問い合わせください。

■ 寄付の方法

当財団へご寄付いただく場合は、財団事務局（群馬県庁 15 階・☎ 027-220-4431）へご来訪いただくか、財団にご連絡の上、下記口座にお振込をお願いいたします。振込手数料は寄付者のご負担となりますのでご了承下さい。

福島県	東邦銀行県庁支店	普通	1078095	新潟県	第四銀行県庁支店	普通	1182791
	福島銀行本店営業部	普通	0590088		北越銀行県庁支店	普通	0199366
	大東銀行福島支店	普通	1287138		大光銀行新潟支店	普通	0837334
群馬県	群馬銀行県庁支店	普通	0515428				
	東和銀行本店営業部	普通	0975531				

特別協賛寄付者のご紹介

※7月31日現在、五十音順、敬称略



顧客と時代のニーズを追い求めて
系井商事(株)

系井商事株式会社 地元企業として、日本の宝である尾瀬の自然環境保全に役立てて欲しいという趣旨から、100万円のご寄付をいただきました。昨年度に引き続き2回目となります。(通算寄付総額 2,000,000円)

寄付者からのメッセージ: 系井商事は昭和21年創業、今年で72周年を迎えました。「顧客と時代のニーズを追い求め続けます。」と「会社の繁栄、社員の幸福、地域社会への貢献を三位一体で推し進めます。」を経営理念に掲げ、地域にとって存在価値のあり続ける企業を目指しています。社長が球団代表を兼ねている群馬ダイヤモンドペガサスの活動と合わせながら、尾瀬の自然環境保護の応援をさせていただきます。



エコ計画

株式会社エコ計画 環境・食・貢献をテーマに事業を展開している企業として、「豊かで美しい尾瀬の自然を後世にまで伝える」という当財団の趣旨に賛同いただき、社会貢献事業の一環として100万円のご寄付をいただきました。寄付は、今回で2回目となります。(通算寄付総額 2,000,000円)

寄付者からのメッセージ: エコ計画は、「環境・食・貢献」をテーマに事業を展開する環境貢献企業です。群馬県では、古民家を移築した自家源泉を備える2つの直営旅館に加え、高崎市倉沢町にはCO2削減と森林保全活動の一環として約1,000haの社有林を保有。フォレストストック協会により「エコ計画の森林」として認定を受けました。

また、群馬県の環境教育を盛り上げるため、小・中学生を対象とした環境に関するプレゼンテーション大会「ぐんまエコ宣言！」を今年度よりスタート。尾瀬は、日本の自然保護の原点でもあり、今後も地域社会との共生、発展に貢献して参ります。

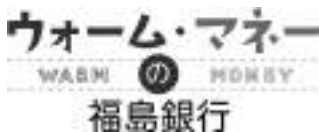
共和工業株式会社

共和工業株式会社(三条市上須頃) 当財団の設立の趣旨と活動内容に賛同いただき、尾瀬の保全に役立てて欲しいと、ご寄付をいただきました。同社からのご寄付は、通算で9回目となります。(通算寄付総額 1,500,000円)
寄付者からのメッセージ: 共和は太陽光発電事業など自然保護を支援してまいります。

SAVE ON

株式会社セーブオン 群馬県内のセーブオン全店舗において、尾瀬環境保全募金を実施していただき、その募金額をご寄付いただきました。(通算寄付総額7,808,403円)

寄付者からのメッセージ: ㈱セーブオンでは、「尾瀬国立公園」が位置する群馬県の店頭にて募金を実施し、多くのお客様に寄付をお寄せいただきました。ご協力頂いたすべてのお客様に深く感謝いたします。今後も、尾瀬の貴重な自然環境を後世まで末永く守り続けるための活動を応援してまいります。



株式会社福島銀行 平成24年11月に発売された「ふくぎんエコ定期『みんなの尾瀬』」では、今年度は1,000万円のご寄付をいただきました。(通算寄付総額57,447,843円)

また、昨年度に引き続き街頭募金活動を実施いただいております。(募金総額339,986円)

寄付者からのメッセージ: 福島銀行は、中期経営計画「ふくぎん本気(マジ)宣言」の基本方針の中で、社会貢献の取組強化を掲げております。「ふくぎんエコ定期『みんなの尾瀬』」では、お預け入れ頂いた同預金の年度末残高の0.01%相当額を尾瀬保護財団へ寄付させて頂いており、趣旨にご賛同頂いた多数のお客様より永年ご支持を頂いております。かけがえのない尾瀬の自然を守るため、福島銀行はお客様と共に、これからも積極的に保護活動に取組んで参ります。



明日をもっとおいしく
meiji

水上高原ホテル200(水上高原リゾート株式会社) 水上より坤六峠を越えて尾瀬に入るツアーを同社が経営されているホテル(水上高原ホテル200)で実施されており、その収益の一部をご寄付いただきました。また、ホテル内で募金を実施していただき、その募金額をご寄付いただきました。同社からのご寄付は、通算5回目となります。(通算寄付総額 1,452,116円)
寄付者からのメッセージ:環境保全と共に尾瀬の雄大な自然と楽しさ・魅力を伝えて参ります。

株式会社 明治 株式会社明治様の群馬工場で使用される水の水源でもある、尾瀬の自然環境を後世まで守り、次代に繋げていくことで、社会そして子どもたちの未来に役立てていただきたいとの想いで、35万円のご寄付をいただきました。(通算寄付総額 2,050,000円)
寄付者からのメッセージ:株式会社明治は、自らの事業が豊かな自然の恵みの上に成り立っていることを認識し、持続可能な社会の実現に貢献していきます。その一環として、尾瀬の貴重な自然環境が守られるための保全活動の一助になる事を期待し、寄付させていただきました。今回の寄付金が有効に活用され、尾瀬の美しい自然環境が未来へ引き継がれていく事を願い、支援を継続してまいります。

尾瀬紀行

尾瀬紀行(信託ファンド)で収受した信託報酬の一部として総額410万円余りをご寄付いただきました。平成19年より今回が12回目のご寄付となります。(通算寄付総額 68,586,192円)



アセットマネジメントOne株式会社 今年度は205万円余りをご寄付いただきました。(通算寄付総額34,293,096円)
寄付者からのメッセージ:尾瀬の美しく貴重な自然を後世に受け継ぐために今回の寄付金が有効に活用され、環境保全の一助となることを期待しております。私たちは投資信託を通じて、尾瀬保護財団に寄付を行っています。



株式会社群馬銀行 今年度は105万円余りをご寄付いただきました。(尾瀬紀行の他、財団設立当初からの寄付をいただいております。通算寄付総額32,134,360円)
寄付者からのメッセージ:信託報酬の一部が尾瀬保護財団への寄付となる仕組みの投資信託を取扱っており、多くのお客さまの善意の集大成を寄付させていただきました。趣旨にご賛同いただき投資信託をご購入いただいた全てのお客さまに深く感謝いたします。



第四証券株式会社 今年度は4万円余りをご寄付いただきました。(通算寄付総額1,811,612円)
寄付者からのメッセージ:尾瀬の自然環境を後世まで末永く守り続けるために今回の寄付金が有効に活用されることを期待しております。第四証券は第四銀行グループとして、これからも尾瀬の自然環境保護を支援すると共に、地域社会の発展に貢献してまいります。



株式会社第四銀行 今年度は20万円余りをご寄付いただきました。(通算寄付総額6,617,385円)
寄付者からのメッセージ:尾瀬の自然環境を後世まで末永く守り続けるため、今回の寄付金が有効に活用されることを期待しております。第四銀行はこれからも尾瀬の自然環境保護を支援すると共に、地域社会の発展に貢献してまいります。



株式会社東邦銀行 今年度は75万円余りをご寄付いただきました。(通算寄付総額12,031,164円)
寄付者からのメッセージ:尾瀬の自然環境を後世まで末永く守り続けることを目的として、当ファンドの販売・運用を通じて地域社会の発展に貢献するとともに、広く尾瀬の自然を愛する皆様と共に力を尽くしていく所存であります。今後とも積極的にCSR(企業の社会的責任)を重視して取組んで参ります。

協賛寄付者のご紹介

※7月31日現在、五十音順、敬称略

あいおいニッセイ同和損害保険株式会社

あいおいニッセイ同和損害保険株式会社様では、地域・社会貢献の取組みの一環として、お客様がペーパーレス保険証券・Web約款を選択された件数に応じて、環境保護活動を行う団体等へ寄付を実施されております。今回はその寄付先として初めて当財団が選定され、39万円余りをご寄付いただきました。(通算寄付総額 396,790円)

糸井商事株式会社

地元企業として、日本の宝である尾瀬の自然環境保全に役立てて欲しいという趣旨から、当財団の設立の趣旨と活動内容に賛同いただき、10万円のご寄付をいただきました。昨年度に引き続き2回目となります。(通算寄付総額 200,000円)

**一般財団法人
群馬県警察厚生会**

当財団の設立の趣旨と活動内容に賛同していただき、尾瀬の美しい自然が後世の人々に引き継がれるよう活動に役立てて欲しいと、ご寄付をいただきました。平成23年度から毎年ご寄付をいただき、今回で8回目となります。(通算寄付総額 800,000円)

群馬トヨペット株式会社

当財団の設立の趣旨と活動内容に賛同していただき、30万円のご寄付をいただきました。環境とお客さまとのふれあいを大切に作る群馬トヨペット」という企業理念のもと、尾瀬の優れた自然環境を保全するという活動主旨にご賛同いただき、引き続きご支援いただいております。通算2回目の寄付となります。(通算寄付総額 600,000円)

株式会社とりせん

当財団の自然保護活動に活用してもらいたいとの趣旨で、10万円のご寄付をいただきました。株式会社とりせん様からは、平成21年に株式会社とりせん創立60周年を記念して、環境保全に寄与するという目的で社員の皆様が募金活動を実施し、その収益をご寄付いただいております。同社からのご寄付は通算で6回目となりました。(通算寄付総額1,558,391円)

株式会社ニチネン

株式会社ニチネン様が片品村の尾瀬工場(平成19年4月に設立)で生産し、販売するミネラルウォーター「尾瀬の湧き水」の収益の一部を、尾瀬の自然環境保全のために役立てて欲しいと、ご寄付をいただきました。平成19年度から毎年ご寄付をいただき、通算で11回目となります。(通算寄付総額 1,100,000円)

その他寄付者のご紹介

※平成30年1月1日～平成30年7月31日までの寄付者、五十音順、敬称略

板橋勇人、NPO法人尾瀬愛しむ会、遠藤孝男、小花光雄、株式会社クオカード、KDDI株式会社、ひかり接骨院 院長 千木良亮介、堀木紀美子、割田基一 の皆様から御支援をいただきました。



表紙の動物 ▶▶▶

国の天然記念物であるヤマネ(ニホンヤマネ)。漢字で「冬眠鼠」と書き、尾瀬では、長い冬の間、半年以上も、木の中の空洞や落ち葉の下などで、体を真ん丸にして眠っています。英語では、眠そうな人のことをdormouse(ヤマネ)と言うそうです。

樹上で生活し、写真のように、器用に枝にぶらさがって移動します。夜行性のため、なかなか出会えない生き物ですが、尾瀬でヤマネを見かけたら、ぜひ、ビジターセンターへお越しください。ヤマネ発見証を交付します。



イベント情報

第22回NHK「わたしの尾瀬」写真展



第22回風景の部金賞「雲の乱」山本秀肇氏

福島展

- 期間 平成30年10月16日(火)～31日(水)
午前9時～午後9時
- 会場 福島市アクティブシニアセンター アオウゼ
(福島県福島市曾根田町1-18 MAXふくしま4階)
TEL: 024-533-2344

郡山展

- 期間 平成30年11月27日(火)～12月6日(木)
午前10時～午後5時
※土日祝日休館、最終日は午後4時まで
- 会場 郡山市役所 本庁舎1階 市民ギャラリー
(福島県郡山市朝日一丁目23-7)
TEL: 024-924-2491

※予定は変更になる場合があります

『友の会』コーナー -「友の会」は豊かな尾瀬の自然を守る財団の活動を支援して下さる方々の集まりです。-

※加入・更新時期は年4回(5月・8月・11月・2月)です。 ※11月1日からの加入・更新をご希望の方は9月30日までに会費の納入をお願いします。

《年会費》

個人	個人会員	1口	2,000円
	家族会員 (個人会員と同居の家族)	1口	1,500円
	ユース会員 (加入又は更新時に満22歳以下)	1口	1,500円
	賛助会員 (団体・企業等)	1口	10,000円
	特別会員 (企業等)	3年に渡る30万円以上の寄付または1回100万円以上の寄付	

《特典について》

友の会に加入された方には、以下の特典を提供させていただきます。

- 友の会会員バッジ進呈(初回加入時のみ)、各種資料送付
- 財団機関誌：郵送にてお配りします
- 宿泊割引：尾瀬戸倉、檜枝岐村周辺宿泊割引
(休日、祝祭日前等の除外日があります。)
- 尾瀬周辺施設利用料金割引：
対象施設等の詳細は財団ホームページでご確認ください。
<https://www.oze-fnd.or.jp>

| 編集後記 |

とにかく暑かった今年の夏。雪国育ちの私には過酷な日々でした。そんな私にとっての癒しのスポットはもちろん尾瀬。今年は尾瀬ヶ原でも30度を超えることがありましたが、下界とは違い吹く風が涼やかです。さわやかな風に吹かれながら眺める尾瀬沼の景色、今年当たり年だったコバイケイソウやカキツバタの花々を楽しみながら歩く尾瀬ヶ原。まさに至福のひと時です。(原嶋)



OZE Mobile ● 緊急情報 ● お知らせ ● ライブ映像 など
スマートフォンサイト情報配信中

Twitter @oze_info
尾瀬情報配信中
尾瀬の情報を随時発信します



本誌は、再生紙と環境にやさしい再生植物油インキを使用しています。